

岐阜市立女子短期大学（再編後）のポリシー

資料 4

岐阜市立女子短期大学のポリシー

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学では、教育目標に定める人材を育成するため、○自らが作成したポートフォリオに沿って、所定の単位数を修得するとともに、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能、および共通教育による教養を身に付け、次の能力（チカラ）や態度・意欲を身に付けた学生に学位を授与します。

○多様な価値観を許容するチカラ

多文化共生社会を担うため、他者への理解と許容力を有している。

○新たな価値を見出すチカラ

専門分野での得た知識・技能を社会で活用するため、新たな価値を見出す想像力と思考力、実践力を有している。

○共感と協調により繋がるチカラ

社会や地域に貢献するためコミュニケーション能力とともに主体性と協調性を有している。

■ 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、1年次前期は学科全体を俯瞰できる教育を行い、1年次後期から専門領域に特化した教育へ移行します。また以下の方針に基づいて共通教育と専門教育の課程を編成・実施します。

○共通教育

専門教育の知識や技能を社会へ繋げるため、岐阜学をはじめとする実践的な地域活動を通し、創造力や思考力を養います。また現代教養として必要な情報教育や自国文化の習得、コミュニケーション能力を高められるようにカリキュラムを編成・実施します。

○専門教育

専門教育での体系的学習と、分野を超えた横断的な学習ができるカリキュラムにより、学びにおける学生の主体性を高めるとともに、多様な価値観と出会い、互いに認め合う能力を育める教育プログラムを構築します。また、共通教育で育んだ能力を専門分野の実践的な活動に生かし、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる3つのチカラを身に付けることができるよう教育します。

■ 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、教育目標や学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、また各学科での教育内容について理解し、それらの達成に必要な基礎学力や応用する思考力、主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めています。

そのため適正かつ多様な入試を実施し、本学で教育を受けるのにふさわしい学生の能力・適性等を多面的かつ公正に評価し、入学者の選抜を行います。

■ 教育目標（参考・本学ビジョンに掲載）

社会において、一人ひとりが、生きたいと思う人生を描き、実現するために、「多様な価値観を許容する力」、「自分、身近な人、地域にとって何が必要かを考え、新たな価値を見出す力」、「共感と協調に基づく人間力」を涵養する教育を行う。

新しい岐女短教育の特徴

(1) 全学的な特徴

- ・ 1年次前期の学科共通教育（新設： 岐阜学入門、データサイエンス概論）
- ・ 学科専門領域への配属は1年次後期から（1年次前期に、学科全領域の特徴を俯瞰したうえで領域を選択）
- ・ 1年次前期からポートフォリオを活用した学生へのきめ細やかな指導*
- ・ 岐阜学を意識した専門教育
- ・ 地域と密着した卒業研究（地域実践演習）
- ・ 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」の認定を目指した情報教育

(2) 各学科の特徴的教育（例）

- ・ ネイティブ教員による外国語による専門授業の実施（国際コミュニケーション学科：英語、中国語、韓国語）
- ・ 領域に関わらず、全学生が栄養士資格を取得可能（健康栄養学科）
- ・ 地域産業と連携した実践的教育の実施（デザイン環境学科：地域産業論、地域産業計画演習、サステナブルデザイン）

*メンターによるケアのもと、一年次前期に全学生がポートフォリオを作成。

>> 自身の目標を明確に定めて卒業までの自己研鑽に臨む。

>> 1) ポートフォリオの内容

>> ・ 自身の経歴

>> ・ 自身の特徴

>> ・ 目標（卒業まで、将来）

>> ・ 卒業までの各期の計画（受講科目，その他）

>>

>> 2) メンター（優れた助言者）によるケア（3つのポリシーの実現に向けた具体的取り組み）

>> ・ 学科別に、担任を中心に全教員がメンターを分担

>> ・ 一年次前期にスタートして卒業までケア

>> ・ 学科のカリキュラムマップを熟知して指導する必要がある（複数のカリキュラムツリーの用意）

>> ・ 話し合いにより、年次途中の受講科目の変更もあり得る

>>

>> 3) その他

>> ・ 高大連携を実施するのであれば、高校時代からポートフォリオ作成に協力し、総合型選抜または推薦入試を経て優先的に？入学してもらうことも可能か。

学科ポリシーとカリキュラム 1

国際コミュニケーション学科

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際コミュニケーション学科は、グローバルな視点を養いつつ、地域社会に根差した実践教育を通じ、さまざまな文化的背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションを取りながら協働して地域の魅力を発信し、よりよい地域・社会を作っていく際に中心的な役割を果たすことのできる人材の育成を目指します。そのために必要な専門分野を現代社会、文化交流、英語、東アジア言語の4領域とし、領域を横断しながら学ぶことを教育目標とします。この目標を満たし、各領域の定める具体的資質を身につけた人材に対し、学位を授与します。

○現代社会領域

グローバルな視点で地域のさまざまな営みを捉え、地域・世界の抱える諸問題に対する解決策やその持続的な発展のために行動するために必要な知識とスキルを持っている。

○文化交流領域

さまざまな国・地域の文化・価値観に対する知識を持ち、多様な文化・価値観を尊重しながら、文化を超えたコミュニケーションの場で中心的な役割を果たすために必要な姿勢を兼ね備えている。

○英語領域

世界共通語とされる英語をコミュニケーションのために使用することができ、さまざまな情報や自らの意見を、国際的な場面や地域社会に向けて発信することができる。

○東アジア言語領域

隣国であり人的往来が最も多い中国・韓国の言語や日本語を、外国人とのコミュニケーションのために使用することができ、地域の観光・ビジネス・在日外国人支援などの場で中心的な役割を果たすことができる。

■ 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際コミュニケーション学科のカリキュラムは、幅広い教養を身につけるための教養教育科目と専門科目によって構成されます。専門科目は、専門科目基礎、領域共通専門科目、各領域専門科目により構成されています。

1. 専門科目基礎では、国際社会や地域社会の課題に取り組むための基礎となる知識や視点を養うための科目と、大学で学ぶ姿勢を身につけるための導入科目を展開します。
2. 領域共通専門科目では、各領域での学びを概観するための領域入門科目と、すべての領域に共通して必要となる知識や実践力を身につけるための科目を展開します。
3. 各領域専門科目には、ディプロマ・ポリシーに掲げる4つの領域（現代社会、文化交流、英語、東アジア言語）の知識や実践力を身につけるための科目を展開します。学生は自らの目的に沿って、これらの領域のいずれかに所属し、他の領域の科目も履修しながら、国際社会や地域社会の発展や問題解決に資する力を身につけていきます。
4. 専門科目は、段階的に知識や実践力を身につけることができるよう、年次や学期が進むにつれて発展的な内容になるように構成されています。

■ 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

さまざまな文化的背景をもった人々と協働し、地域と世界のつながりを意識しながらその持続的な発展のために行動する意欲をもった者の入学を求めています。日本を含むさまざまな国や地域の社会・文化について深く学ぶ意欲、コミュニケーションの手段としての英語や中国語・韓国語の習得に対する意欲をもった学生を歓迎します。

■ 学科の特徴

- ・「海外研修」「産業・振興人材研修（国内外）」「インターンシップ」を通じて地域での活動を体験し、それを「地域実践演習（卒業研究）」で活かす。
- ・ネイティブ教員による外国語での授業を行う。

国際コミュニケーション学科 カリキュラム案

赤字：新設 太字：必修 青字：外国語による授業 #：岐阜学

	分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
教養教育科目	岐阜学	岐阜学入門 #	課題創造演習 #	地域貢献演習 #	
	教養	生活と経済	生活と福祉	生活と化学	生物学
			現代社会と法律		日本社会の歩み
	スポーツ	スポーツ&エクササイズ	健康とスポーツ		
	情報	情報処理(基礎)	情報処理(応用)		
		データサイエンス概論			
	外国語	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ
フランス語Ⅰ		フランス語Ⅱ			
	他学科専門科目基礎				
専門科目基礎 (全学共通)	領域基礎	日本文化論	グローバル化論	地域研究概論 #	人間関係概論
			多文化共生社会論 #	国際関係概論	国際社会とジェンダー
領域共通	共通	現代社会入門※	岐阜の産業と文化 #	異文化コミュニケーション	比較宗教学
		文化交流入門※	世界の国々と地域	観光概論 #	ホテル論
		英語圏言語文化入門※	近現代の世界	世界が見る日本	
		東アジア言語文化入門※	第二言語習得論		
	英語	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ
		検定英語演習Ⅰ		検定英語演習Ⅱ	
	中国語	初級中国語Ⅰ	初級中国語Ⅱ		
	韓国語	初級韓国語Ⅰ	初級韓国語Ⅱ		
	日本語	日本語表現法Ⅰ	日本語表現法Ⅱ		
	導入	教養演習(導入教育)			
実践	海外研修(英語圏・中国語圏・韓国)				
	産業・地域振興人材海外研修(国内外)・インターンシップ				
現代社会領域	地域振興		社会調査論	地域経済・振興論 #	扶助・支援論
	国際協力		現代企業事情 #	環境・エネルギー論	持続可能性論
	実践演習			国際協力論	地域実践演習(卒業研究)Ⅱ #
				地域実践演習(卒業研究)Ⅰ #	地域実践演習(卒業研究)Ⅱ #
文化交流領域	欧米文化交流		英語圏文化論	ヨーロッパ文化論	
	アジア文化交流		アジア文化論	国際日本文化論	比較文化論
				現代韓国論	地域間国際交流論 #
	実践演習			現代中国論	文化交流論
				地域実践演習(卒業研究)Ⅰ #	地域実践演習(卒業研究)Ⅱ #
英語領域	スピーキング		English Conversation	English Discussion	English Presentation
	リスニング		メディア・イングリッシュⅠ	メディア・イングリッシュⅡ	メディア・イングリッシュⅢ
	ライティング		パラグラフ・ライティング	エッセイ・ライティング	アカデミック・ライティング
	リーディング他		インテンシブ・リーディング	アドバンスト・リーディング	観光英語 #
	アカデミック		英語コミュニケーション論	英米文学	英語表象文化
	実践演習			地域実践演習(卒業研究)Ⅰ #	地域実践演習(卒業研究)Ⅱ #
東アジア言語領域	中国語		中国語(文法・読解)	中国語(会話)	ビジネス中国語
				観光中国語 #	中国圏の文化と社会
	韓国語		韓国語(文法・読解)	韓国語(会話)	ビジネス韓国語
				観光韓国語 #	韓国・朝鮮の文化と社会
	日本語教授		日本語教授基礎理論	「やさしい日本語」作文	日本文学概論
実践演習			地域実践演習(卒業研究)Ⅰ #	地域実践演習(卒業研究)Ⅱ #	

※ 4科目から3科目必修

国際コミュニケーション学科

■「現代社会領域・地域経済・振興分野重視」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 国際日本文化論②	専門科目 基礎 グローバリゼーション論② 多文化共生社会論②	専門科目 基礎 地域研究概論② 国際関係概論②	専門科目 基礎 人間関係論② 国際社会とジェンダー②
専門科目 (領域共通) 現代社会入門② 英語圏言語文化入門② 東アジア言語文化入門② 英語コミュニケーションⅠ① 初級中国語Ⅰ① 教養演習①	専門科目 (領域共通) 岐阜の産業と文化② 英語コミュニケーションⅡ① 初級中国語Ⅱ① 産業・地域振興人材研修①	専門科目 (領域共通) 観光概論② 地域実践演習Ⅰ②	専門科目 (領域共通) ホテル論② 地域実践演習Ⅱ②
	専門科目 (領域別) 社会調査論② 現代企業事情②	専門科目 (領域別) 地域経済・振興論② 環境・エネルギー論②	専門科目 (領域別) 持続可能性論②
			専門科目 (他領域) 地域間国際交流論②
11単位	13単位	12単位	12単位 計48単位

卒業後の進路イメージ：地元グローバル企業、一般企業（総務・営業）、観光関連企業

■「東アジア言語領域・中国語分野重視」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 国際日本文化論②	専門科目 基礎 グローバリゼーション論② 多文化共生社会論②	専門科目 基礎 地域研究概論② 国際関係概論②	専門科目 基礎 人間関係論② 国際社会とジェンダー②
専門科目 (領域共通) 現代社会入門② 文化交流入門② 東アジア言語文化入門② 初級中国語Ⅰ① 日本語表現Ⅰ① 教養演習①	専門科目 (領域共通) 岐阜の産業と文化② 初級中国語Ⅱ① 海外研修①	専門科目 (領域共通) 異文化コミュニケーション② 観光概論② 産業・地域振興人材研修① 地域実践演習Ⅰ②	専門科目 (領域共通) ホテル論② 地域実践演習Ⅱ②
	専門科目 (領域別) 中国語 (文法・読解) ①	専門科目 (領域別) 中国語 (会話) ① 観光中国語①	専門科目 (領域別) ビジネス中国語① 中国語圏の文化と社会②
	専門科目 (他領域) アジア文化論②	専門科目 (他領域) 現代中国論②	
11単位	11単位	15単位	11単位 計48単位

卒業後の進路イメージ：観光関連企業、NPO 国際交流組織、一般企業（総務・営業）

学科ポリシーとカリキュラム 2

健康栄養学科

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

健康栄養学科は、厚生労働大臣から認可を受けた栄養士養成課程であり、社会の要請に沿った質の高い栄養士の人材育成を目指します。医療・福祉領域、食環境領域の2領域とし、次に掲げる資質・能力を身につけた人材に対して、「短期大学士（食物栄養）」の学位を授与します。

- (1) 栄養士の役割を理解し、高い倫理観と強い責任感・使命感をもって、行動できる
- (2) 「健康・栄養・食」に関わる課題に対して、専門的知識および技術をもって、解決方法を探究できる
- (3) 豊かな人間性をもって、他者と円滑なコミュニケーションができる
- (4) 栄養の専門家として、生涯にわたり自律的に学び自己研鑽できる

○福祉・医療領域

少子・超高齢社会の現代において、生活習慣病者や要介護者が増加し、同時に国民医療費が増大している。これらの諸問題の解決に必要な知識とスキルを持っている。

○食環境領域

地域の食環境を活かした食の力で、地域住民の健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の向上に寄与し、幸せな健康長寿社会の実現に貢献するための発信力を持っている。

■ 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

栄養士養成課程の法令に定められた教養教育科目と専門科目を基本にカリキュラムを編成しています。医療・福祉分野に必要な知識と技術を身につけ、病院・福祉施設での栄養改善、疾病の治療に貢献できる医療・福祉領域と、健康と食をつなぐ食品について幅広く学び、食に関連する多彩な地域活動を通して実践力を養う食環境領域の2領域があります。1年生の後期から、医療・福祉領域と食環境領域に分かれて修学します。

・1年次教育の特色

1年後期から分かれる領域のために、前期に、栄養士の仕事内容等について学べる「教養演習」を開講し、学生が自ら領域を選択できるように配慮します。

・2年次教育の特色

栄養士に必要な課題解決能力やコミュニケーション能力、協調性を身につけます。後期には、栄養士実力認定試験を受験し、さらなる自己研鑽を積む機会を設けます

■ 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

健康栄養学科は、栄養士免許取得を目指す者を受け入れ、その者に対して栄養士になるための教育を施すことを基本方針としています。

栄養士は食と栄養の専門家として専門性を発揮し、国民の栄養改善、健康増進、疾病予防など重要な役割を担い、国民の医療費削減に貢献することが期待されています。「健康・栄養・食」に関わる諸問題に関心がある者の入学を求めています。将来、栄養士となり、人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持っている学生を歓迎します。

■ 学科の特徴

- ・ 栄養・運動・休養について包括的に学べる栄養士養成カリキュラム
- ・ 岐阜の食を知っている地域社会に役立つ実践力のある栄養士の養成

健康栄養学科 カリキュラム案

赤字：新設 太字：必修（専門教育科目：栄養士必修） #：岐阜学

	分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
教養教育科目	岐阜学	岐阜学入門 #	課題創造演習 #	地域貢献演習 #		
	教養	生活と経済	生活と福祉	生活と化学	生物学	
			現代社会と法律		日本社会の歩み	
	スポーツ	スポーツ&エクササイズ	健康とスポーツ			
	情報	情報処理（基礎）	情報処理（応用）			
		データサイエンス概論				
外国語	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ		
	他学科専門科目基礎					
専門科目基礎 （全学共通）		女性の健康科学 ライフステージ栄養学Ⅰ		カウンセリング論	食品加工学	
	岐阜学		地域食文化論 #			
領域共通	社会生活と健康	女性の健康科学		社会福祉概論	公衆衛生学	
	人体の構造と機能		解剖生理学 生化学Ⅰ 生化学実験	運動科学演習 生化学Ⅱ	運動生理学 身体の科学	
		食品と衛生	食品学 # 食品学実験	食品衛生学		食品衛生学実験 食品加工学 食品加工学実習 #
	栄養と健康	栄養学実験 基礎栄養学 ライフステージ栄養学Ⅰ	臨床栄養学 ライフステージ栄養学実習	臨床栄養学実習 # 栄養管理論	栄養管理実習	
					栄養士実習	
	栄養の指導	栄養指導論 #	公衆栄養学概論 # 栄養情報処理実習	栄養指導論実習 カウンセリング論		
	給食の運営	調理学 # 調理学実習 #	給食管理実習Ⅰ		給食管理実習Ⅱ（校外実習）	
		給食管理				
		教養演習 基礎実験化学	地域食文化論 #		地域実践演習（卒業研究）	
	医療・福祉領域	社会生活と健康		メンタルヘルス		
人体の構造と機能					病理学	
栄養と健康				ライフステージ栄養学Ⅱ		
食環境領域	食品と衛生		食品機能学	食品品質管理論	食品流通論 #	

健康栄養学科

■「医療・福祉領域」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 女性の健康科学② ライフステージ栄養学Ⅰ②	専門科目 基礎 地域食文化論②	専門科目 基礎 カウンセリング論②	専門科目 基礎 食品加工学②
専門科目 (領域共通) 食品学② 食品学実験② 栄養学実験① 基礎栄養学② 栄養指導論② 調理学② 調理学実習① 給食管理② 教養演習① 基礎実験化学①	専門科目 (領域共通) 解剖生理学② 生化学Ⅰ② 生化学実験① 食品衛生学① 臨床栄養学② ライフステージ栄養学実習① 公衆栄養学概論② 栄養情報処理実習① 給食管理実習Ⅰ①	専門科目 (領域共通) 社会福祉概論② 運動科学演習① 生化学Ⅱ② 臨床栄養学実習① 栄養管理論② 栄養指導論実習① 栄養士実習 給食管理実習Ⅱ (校外実習) 地域実践演習 (卒業研究)	専門科目 (領域共通) 公衆衛生学② 運動生理学② 身体の科学② 食品衛生学実験① 食品加工学実習① 栄養管理実習① 栄養士実習① 給食管理実習Ⅱ (校外実習)① 地域実践演習 (卒業研究)②
	専門科目 (領域別) メンタルヘルス②	専門科目 (領域別) ライフステージ栄養学Ⅱ②	専門科目 (領域別) 病理学②
19単位	17単位	13単位	17単位 計66単位

卒業後の進路イメージ：給食会社（メディカル給食部門）、医療機関、介護施設

■「食環境領域」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 女性の健康科学② ライフステージ栄養学Ⅰ②	専門科目 基礎 地域食文化論②	専門科目 基礎 カウンセリング論②	専門科目 基礎 食品加工学②
専門科目 (領域共通) 食品学② 食品学実験② 栄養学実験① 基礎栄養学② 栄養指導論② 調理学② 調理学実習① 給食管理② 教養演習① 基礎実験化学①	専門科目 (領域共通) 解剖生理学② 生化学Ⅰ② 生化学実験① 食品衛生学① 臨床栄養学② ライフステージ栄養学実習① 公衆栄養学概論② 栄養情報処理実習① 給食管理実習Ⅰ①	専門科目 (領域共通) 社会福祉概論② 運動科学演習① 生化学Ⅱ② 臨床栄養学実習① 栄養管理論② 栄養指導論実習① 栄養士実習 給食管理実習Ⅱ (校外実習) 地域実践演習 (卒業研究)	専門科目 (領域共通) 公衆衛生学② 運動生理学② 身体の科学② 食品衛生学実験① 食品加工学実習① 栄養管理実習① 栄養士実習① 給食管理実習Ⅱ (校外実習)① 地域実践演習 (卒業研究)②
	専門科目 (領域別) 食品機能学②	専門科目 (領域別) 食品品質管理論②	専門科目 (領域別) 食品流通論②
20単位	17単位	13単位	17単位 計67単位

卒業後の進路イメージ：食品メーカー、薬品メーカー、給食会社、幼稚園、保育所

学科ポリシーとカリキュラム3

デザイン環境学科

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン環境学科は、持続可能な社会の実現のため「自然環境との共生」「素材から取り組む本物志向」「人々を動かす力の向上」を軸に、デザインの思想や意義と地域産業への理解を深め、共感と協調に基づいて社会生活における諸課題を解決する能力を身につけた人材の育成を目指します。そのために必要な専門分野をファッション、建築・インテリア、ヴィジュアルの3領域とし、領域を横断しながら学ぶことを教育目標とします。この目標を満たし、各領域の定める具体的資質を身につけた人材に対し、学位を授与します。

○ファッション領域

高品質な素材縫製技術による「本物志向」の教育を通して持続可能なファッション文化の実現を目標に、地域の繊維産業と連携しながら素材・製造・販売までの実践的な能力を身につける。

○建築・インテリア領域

自然環境との共生を再認識し、産官学連携による実践的な地域活動に積極的に取り組む中で、持続性のある建築・地域づくりに貢献する。

○ヴィジュアル・情報領域

ビジュアルコミュニケーションを効果的に学修するため、従来の視覚情報について学ぶとともに、現代社会に適した情報科学を学び、創造的な取り組みを実践する。

■ 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

デザイン環境学科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、1年次前期は学科全体に共通する領域に関する教育を行い、1年次後期から専門領域に特化した教育へ移行します。また以下の方針に基づいて領域共通教育と領域専門教育の課程を編成・実施します。

1. デザイン全般において必要不可欠な能力を養う「基礎科目」と、各領域の内容を見渡すことができる知識を習得する「領域基礎科目」を設定し、実践的な地域活動を通し、創造力や思考力を養います。
2. 領域固有の知識と技術を体系的に身につける「領域科目」を設定し、各領域では専門分野毎に体系的に能力・技術を身につけることできる科目構成とします。

■ 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

持続可能な社会の実現において、様々な問題を解決するために、デザイン分野の知識・能力を身につけて社会に貢献したいという強い意志を持った者の入学を求めています。地域との連携による実践的な取り組みに積極的に参画する意欲をもった学生を歓迎します。

■ 学科の特徴

- ・ 持続可能な「ものづくり」のための専門知識を養うカリキュラム
- ・ 地域産業と連携した実践的な教育科目を新設

デザイン環境学科 カリキュラム案

赤字：新設 太字：必修 #：岐阜学

	分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
教養教育科目	岐阜学	岐阜学入門 #	課題創造演習 #	地域貢献演習 #		
	教養	生活と経済	生活と福祉	生活と化学	生物学	
			現代社会と法律		日本社会の歩み	
		スポーツ	スポーツ&エクササイズ	健康とスポーツ		
	情報	情報処理(基礎)	情報処理(応用)			
		データサイエンス概論				
	外国語	英語 I	英語 II	英語 III	英語 IV	
他学科専門科目基礎						
専門科目基礎 (全学共通)	領域基礎	色彩学				
		美術・デザイン史				
		ファッションデザイン概論				
		建築・インテリア概論				
		ビジュアルデザイン概論				
		材料学 #				
	日本建築史 #					
岐阜学			地域産業論 #	地域産業計画演習 #		
領域共通	基礎	デザイン環境演習 I				
		デザイン環境演習 II				
		発想トレーニング				
		サステナブルデザイン #				
	教養演習	課題研究	地域実践演習(卒業研究)	地域実践演習(卒業研究)		
ファッション領域	素材		繊維材料学	テキスタイル素材演習		
	Fデザイン			材料管理学	テキスタイル染色演習	
			ファッションデザイン画	ファッションデザイン演習 I	ファッションデザイン演習 II	
	造形		ファッション造形論	パターンメイキング論		
			ファッション造形演習 I	ファッション造形演習 II	ファッション造形演習 III	
				ドレーピング		
		ファッション史概論			ファッション造形演習 IV	
Fビジネス	ファッションマーケティング #	ブランドマーチャンダイジング #		ファッション販売論		
実践		染色デザイン演習 #	ファッション造形実践演習 #	テキスタイル創造演習 #		
建築・ インテリア領域	計画		建築・インテリア設計演習 I #	建築・インテリア設計演習 II #	建築・インテリア設計演習 III #	
			建築・インテリアCAD演習			
			建築プレゼンテーション演習			
			建築計画論	公共施設計画論 #	住生活論	
	構造		西洋建築史			
			建築材料学 #	一般構造		
				構造力学	構造力学演習	
				構造計画		
	環境		建築環境学		バイオクライマティックデザイン #	
			建築設備学			
インテリア その他				施工と生産システム演習	測量演習	
				建築法規		
		インテリアデザイン論	インテリアデザイン演習			
ビジュアル領域	グラフィック		グラフィックデザイン I	グラフィックデザイン II #	グラフィックデザイン III #	
			CG演習	DTP演習※		
			メディアデザイン論		映像表現(実写)	
	イラストレーション				映像表現(アニメーション)	
			イラストレーション I	イラストレーション II	絵本・イラストレーション	
	Web・情報		情報デザイン論	Webデザイン※		
			認知情報処理	ビジュアルデータサイエンス		
その他		ビジュアルリテラシー				
		コミュニケーションデザイン論 I #	コミュニケーションデザイン論 II #			
			パッケージデザイン # ※	デジタルファブリケーション演習 #		

※ 3科目から1科目以上必修

デザイン環境学科

■「ファッション領域」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 色彩学② 美術・デザイン史② ファッションデザイン概論② 建築・インテリア概論② ヴィジュアルデザイン概論② 専門科目（領域共通） デザイン環境演習Ⅰ② デザイン環境演習Ⅱ② 教養演習①	専門科目 基礎 専門科目（領域共通） 専門科目（領域別） 繊維材料学② ファッションデザイン画② ファッションデザイン演習Ⅰ② ファッション造形論② ファッション造形演習Ⅰ② ファッションマーケティング②	専門科目 基礎 地域産業論② 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究） 専門科目（領域別） テキスタイル素材演習② 材料管理学② パターンメイキング論② ファッション造形演習Ⅱ② ブランドマーチャングデザイン②	専門科目 基礎 地域産業計画演習② 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究）④ 専門科目（領域別） テキスタイル染色演習② 消費科学② ファッション販売論②
15単位	12単位	12単位	12単位 計51単位

卒業後の進路イメージ：ファッションアドバイザー、他

■「建築・インテリア領域」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 色彩学② 美術・デザイン史② ファッションデザイン概論② 建築・インテリア概論② ヴィジュアルデザイン概論② 専門科目（領域共通） デザイン環境演習Ⅰ② デザイン環境演習Ⅱ② 教養演習①	専門科目 基礎 専門科目（領域共通） 専門科目（領域別） 建築・インテリア設計演習Ⅰ② 建築・インテリアCAD演習② 建築プレゼンテーション演習② 建築計画論② 西洋建築史② 建築材料学② 建築環境学② 建築設備学② インテリアデザイン論②	専門科目 基礎 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究） 専門科目（領域別） 建築・インテリア設計演習Ⅱ② 公共施設計画論② 一般構造② 構造力学② 構造計画② 施工と生産システム演習② 建築法規②	専門科目 基礎 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究）④ 専門科目（領域別） 建築・インテリア設計演習Ⅲ② 住生活論② 構造力学演習② バイオクライマティックデザイン② 測量演習②
15単位	18単位	14単位	14単位 計61単位

卒業後の進路イメージ：設計・建築士（リノベーション）

■「ヴィジュアル領域」専門科目（48単位）履修モデル

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門科目 基礎 色彩学② 美術・デザイン史② ファッションデザイン概論② 建築・インテリア概論② ヴィジュアルデザイン概論② 専門科目（領域共通） デザイン環境演習Ⅰ② デザイン環境演習Ⅱ② 教養演習①	専門科目 基礎 専門科目（領域共通） 専門科目（領域別） グラフィックデザインⅠ② CG演習② メディアデザイン論② イラストレーションⅠ② 認知情報処理② ビジュアルリテラシー②	専門科目 基礎 地域産業論② 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究） 専門科目（領域別） グラフィックデザインⅡ② イラストレーションⅡ② Webデザイン② ビジュアルデータサイエンス② コミュニケーションデザイン論Ⅱ②	専門科目 基礎 地域産業計画演習② 専門科目（領域共通） 地域実践演習（卒業研究）④ 専門科目（領域別） グラフィックデザインⅢ② 映像表現（実写）② 映像表現（アニメーション）② 絵本・イラストレーション②
15単位	12単位	12単位	14単位 計53単位

卒業後の進路イメージ：Web/ アプリデザイナー、他